キャラクター名: 那由多　繭

プレイヤー名:

シンドローム	エンジェルハィロゥ オルクス	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	感染	衝動	解放	初期侵食率	32 %
出自	犯罪者の子	経験	永劫の別れ	邂逅	同志

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	4	0	3	2		9
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	24
行動値	20
(非装備時)	20
戦闘移動	25
全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	11		ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ヘルスナイパー	射撃	9r+11	0	14		経験点35使用/同エン不可
12	射撃	9r+11	0	24		コスト4/C値8/単/D10+24/同エン不可
12 100↑	射撃	9r+11	0	26		コスト4/C値7/単/D10+26/同エン不可
123	射撃	9r+11	0	24		コスト7/C値8/範囲(選択)/D10+24/同エン不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ウェポンケース	1				

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
メモリー:宇宙友愛協会の仲間	
メモリー:宇宙人	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
母	P　慕情	N　悔悟		
星雲コスモ	P 好奇心	N 懐疑心		
人間社会	P　誠意	N　嫌気		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ:エンジェルハィロゥ	2		メジャー				2	
効果：	C値-Lv							
小さな塵	5		メジャー				2	
効果：	攻撃力+Lv×2							
レーザーファン	2		メジャー				3	
効果：	対象を範囲(選択)に変更 同エン不可 シナリオLv回							
マスヴィジョン	3		メジャー				4	
効果：	攻撃力+[Lv ×5]							
力の法則	3		オート				4	
効果：	ダメージ+[Lv +1]　ラウンド1回							
ミスディレクション	1		オート				5	
効果：	単体化							
隆起する大地	3		オート					
効果：	迷い中　なくすかもしれません							
七色の直感	★							
効果：								
仕組まれた幸運	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

常に控えめに微笑んでいる穏やかな男だが、執念深く一度興味を引いたものに対しては人が変わったように執着する。
オカルトオタク。とにかく超自然的な存在の話題に遭遇するとおとなしい表情を脱ぎ捨てて大喜びする。

弱冠18歳ながら人間であることに食傷と嫌悪を抱いており、早く人間をやめて人外の存在として既存のしがらみを捨て去りたいという願いを持っている。
オーヴァードとして人を超える力を持ってなお自分を人間扱いする相手が嫌い。
かといって社会を混乱に陥れたいわけではないので覚醒後UGNにもFHにも所属せずいたところ、
宇宙友愛協会に出会いその考えに共鳴して参加することに。
レネゲイドの正体に興味はないが宇宙人だというなら早く退屈な人間の身体をやめて自分も宇宙人に作り替えてほしい。
"人間をやめたい"という願いが基盤とはいえ少々レネゲイド能力を崇拝するきらいがある。

少々過激な思考の持ち主だが、願いに執着しているだけでありそれ以外はおおらか。
また、自分が人外になりたいだけで別に宇宙人に心酔しているわけではない。
[その他の設定]
一人称「僕」二人称「君」「○○さん」

犯罪者の母を持ち、周囲に冷遇され続けて人間に失望しきっている。
異常性癖の父に襲われたところを母に守られ、目の前で父を殺害する母の姿を見ていた。
愛情深く自分を大切にしていた母のことを愛していたが、そんな母に対する社会の仕打ちに失望し、人間が矮小だと考えるようになった。
レネゲイドウイルスに母とともに感染したが自分だけ適応してしまい、母はジャーム化。UGNに引き渡されそうになったが抵抗し自らの手で母にとどめを刺した